



日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

No.

95.1.12 4123

95年たたかいはじめ 1.6青年部、1.8三里塚で旗開き、

1.14は13

千葉労働95 団結旗開き
労働者福祉センター

「1月6日、冒頭の先頭にたつ、
青年部の団結旗開きが、動力車会館で開催されました。
青年部長の丘頭決意表明、本部、青年部OBからの連帯と激励のあいさつ、各支部代表、本部青年部常任委員の即決意をとおして、戦後50年という歴史の節目の年に、新たに気持ちを引き締め、「戦争と大失業の時代」の到来という情勢にたちむかい、「全国にはばたこう」方針をさらに飛躍させて、今年も明るく元気がいっばいで、俺たちがやらなきゃ誰がやる、という決意で、95年の勝利へ、全員の団結力で即つことを確認しました。」

青年部 明るく元気に

GO! GO!



一月八日、一〇時より、三里塚芝山連合空港反対同盟の九五新年団結旗開きが、岩山記念館で開催された。
旗開きの冒頭、「われわれが不屈にたたかいかぎり空港は完成しない・・・三里塚の未来は、全人民の未来と一つである。・・・空港廃港をかちとり、侵略阻止の砦になる」と萩原事務局次長より力強く九五闘争宣言が発せられ、さらに北原事務局長のあいさつでは、三〇年目に突入した三里塚闘争が、勝利の確信も固く団結旗開きを迎え

たことを強調し、当面三・二六三里塚現地集会への結集を訴えた。
乾杯の後、反対同盟員からの決意、動労千葉中野委員長を初め、旗開きに参加した各個人・団体からのあいさつが行なわれ、最後には北原事務局長の音頭で、「北国の春」が唄われるなど、和やかな中にも強固な団結が感じられた旗開きであった。
「戦後」五〇年目を迎え、反戦―反侵略の最前線で三〇年間闘いぬく反対同盟とともにさらに闘いぬこう!

三里塚の未来は全人民の未来



95年の勝利へ、カンパイ
左から... 三浦、市東、
北原、萩原、鈴木さん。